

2020
10
月号

県民の森だより



発行

宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

HPはこちら！

ススキが風に揺れて見ごろを迎え、冬の使者（マガン）は昨年より1日早く9月12日に県内に飛来しているのが確認されています。園内は虫達の合唱がまだ続くなか、中央記念館周囲の木々は黄色や赤色に色付き始め日々色濃く変化しております。この移ろいを満喫出来る散策をお勧め致します。（所長：蜂谷仁）

季節を感じる植物たち



昨年襲来しました台風19号から約1年、崩壊した遊歩道も皆様のご協力ではぼ元通りとなり楽しい森歩きができるようになりました。

これからは秋の草花観察・紅葉狩りや冬鳥との出会いなど最高のシーズンを迎えますので、ご家族の憩いの場として県民の森をご利用下さい。

秋の野の花は比較的小さくまとまって咲くイメージがあります。多くのキク科の植物やオミナエシとオトコエシなどからです。春植物とはまた違って少しわびしさも感じるのは私だけでしょうか。

春に咲く植物と秋から咲く植物の大きな違いは何かと考えますと、苦手な季節を種（たね）の状態で過ごそうとしているのではないのでしょうか。植物にも人間と同じように「夏に強い」と「冬が好き」なのとがあるようです。夏至の後の2か月間は暑いし、冬至からの2か月は寒いと感知する能力があるのではないのでしょうか。よって春植物は夏に弱く、秋から咲く植物は冬が苦手なのではと推測します。

過ごしやすいすれかの時期に花を咲かせしっかりと種子をつくり苦手な環境をやり過ごす植物の知恵には感心します。（森谷）

『写真展』 利府写真愛好会

10月4日から30日まで、利府写真愛好会の写真展を開催いたします。ご来館をお待ちしております！



ハチの活動が活発になる季節です。ハチが寄ってきたら、手で払ったり、走って逃げたりせずに、**頭を隠して低い姿勢を取り、じっと動かずにハチが去るのを待ってゆっくりとその場を離れましょう。襲われた場合は必死で逃げましょう！！**

木のちよっときーになる話

～ vol.12. 共生？ニレにサクラ～

管理事務所東側、芝生広場の南端にハルニレがあります。幹径1mはある立派な大木ですが、近年、何が原因か衰弱が進み枯損が心配されています。ある日、根本近くから緑の葉を茂らせた枝が出ている事に気付きました。これは回復のための若枝か？と思いよく見ますと何とサクラでした。

鳥が運んだものと思いますが、根元近くの幹分かれた隙間に定着した種から芽生え成長したものが若枝に見えたものと分かりました。3m程には伸びており、この先どのように成長するか気になる所でもあり、楽しみでもあります。

サクラが成長を続け、花を咲かせてほしい、と思う事とニレが元気を取り戻しサクラとの共生？がずっと続く事を願ってこれからも見守りたいと思っています。（工藤）





オミナエシ (オミナエシ科) 女郎花

秋の七草の一つ。語源ははっきりしませんが、平安時代のころ黄色の粟飯を女の飯、オミナメシといい、転じてオミナエシになったという説があります。白い飯を男の飯と対比しての話のようです。この花のつつましい姿は日本人好みの野草です。

開花 8~10月 (駒野)

オトコエシ (オミナエシ科) 男郎花

名前はオミナエシより強く丈夫そうに見えるからです。オミナエシと同じく活けた水が腐った豆醬(ずしょう)のような嫌な匂いがします。漢方では敗醬(はいしょう)と呼び根を消炎や排膿などに用います。

開花 8~10月 (駒野)



オスグロトモエ チョウ目 ヤガ科 トモエガ亜科

柔道に「巴投げ」、水鳥に「トモエガモ」、家紋・神紋に「巴紋」、そして、昆虫にもトモエがいました。「オスグロトモエ」、8月下旬、青邨の句碑の近くでヨウシュヤマゴボウの葉で休んでいました。巴の形は色々な説がある中で「水が渦を巻く」形というのが最もわかりやすい説明です。この渦巻の巴紋を持った昆虫。大きな目玉を持ったヤマユガの仲間かなと思って撮った写真ですが、目玉ではなく、渦巻でした。

(くまモン爺さん)

今月のスタッフが見つけたしぜんのひとコマ けんみんのもり写真館

シジュウカラ 四十雀

いちばん身近な鳥と言えば「シジュウカラ」。留鳥で一年を通して見られ、スズメよりやや小ぶり(約14~16cm)で木々の間を元気に飛び回っています。目印は白いホッペと黒ネクタイ。雌雄同色ですが雄のネクタイはやや太め。好物はガの幼虫など、冬は木の実や種も食べます。太陽に輝く背中の中の色も美しい。繁殖期以外は群れを作って暮らし、代表的なさえずりは「ツツピー、ツツピー」ですが、いろいろな鳴き声を組み合わせ、文章をつくる事が出来るヒト以外で唯一の動物って知ってました?

(写真:秀 文:もち)



クロアゲハが旅立ちました♡

石巻市から遠路はるばるお届けいただきましたクロアゲハの幼虫が無事に羽化しました。ユズの木生まれてですが『イヌザンショウ』をよく食べました。サンショウも3種類勉強しました。



虫たちの『変態』は命の大事業！感動をいただきました。

新しい仲間が増えました！

アカハライモリ

池や井戸を守るという意味から『井守』と名付けられたそうです。



もりもり食べる子が『モリー』
スリムな子が『イリー』

■9月号訂正■

『ヒラタクワガタ』⇒
『ミヤマクワガタ』
『クロアゲハ』⇒
『アゲハモドキ』
ご指摘ありがとうございました。



※イベントのスケジュールは別紙となりました。